



こうごしま No.187 議会だより

令和3年2月22日 発行／神津島村議会 編集／議会だより編集委員会 ☎ 04992(8)0011
議会だより編集委員会 委員長 清水勉 副委員長 鈴木佑典 委員 浜川芳光 委員 小林正吾郎
<http://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp



春の息吹（多幸湾）

目 次

- ◇ 令和2年第4回定例会(12月3日～4日)・令和3年第1回臨時会(1月13日) …………… 2
議決結果
- ◇ 令和2年第4回定例会 …………… 3
1名の議員が一般質問
- ◇ 令和2年第4回定例会・令和3年第1回臨時会 …………… 4～5
審議された議案の質疑応答
- ◇ その他 …………… 6
議会日誌、編集後記

令和2年第4回神津島村議会定例会 議決結果

開会日:12月3日(木)～4日(金)

議案番号	議案件名	審議結果
承認第 7号	専決処分の承認を求めることについて (し尿汲取り車購入契約)	原案承認
承認第 8号	専決処分の承認を求めることについて (C T 診断装置購入契約)	〃
承認第 9号	専決処分の承認を求めることについて (神津島村常勤職員に対する給与条例の一部を改正する条例)	〃
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて (神津島村長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例)	〃
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて (議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例)	〃
議案第46号	神津島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第47号	神津島村営バスの設置等に関する条例の一部を改正する条例	〃
議案第48号	神津島村温泉保養施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	〃
議案第49号	令和2年度東京都神津島村一般会計補正予算 (第4号)	〃
議案第50号	令和2年度東京都神津島村簡易水道特別会計補正予算 (第3号)	〃
議案第51号	令和2年度東京都神津島村国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	〃
議案第52号	令和2年東京都神津島村後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	〃

令和3年第1回神津島村議会臨時会 議決結果

開会日:1月13日(水)

議案番号	議案件名	審議結果
承認第 1号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度東京都神津島村一般会計補正予算(第5号))	原案承認
議案第 1号	はまゆう 保育園大規模改修工事請負契約の変更	原案可決
議案第 2号	桑沢地区造成整備工事請負契約の変更	〃

一 般 質 問



松本 裕一 議員

ごみの減量化について

① 大島処分場へ持ち込まれる神津島からの焼却灰・灰塵は平成18年から令和元年度までの14年間の累計は、1,771トン（平成30年の人口1894人）一人当たり935kgになる。北地域・大島に搬入される神津島の焼却灰・焼却残渣の累計は他の3島を大きく上回る。大島処分場の延命化のためにも、人口割搬出量の減少・対策を講ずる必要があるのでは。

② 大島処分場の埋立て完了は、令和3年3月までの計画であった。現在の埋め立て進捗率は約47%である。各島のごみ減量化により計画の見直しが行われ、令和22年3月までに延長することが決定した。今後、ごみの減量化に向け、村民のごみに対する意識改革やリサイクル事業の拡大が必要不可欠である。

③ 可燃ごみとして焼却処分されている段ボール、紙類の資源ごみを収集・梱包・島外搬出するためのリサイクルセンター施設が必要では。

④ 紙類の資源ごみを島外搬出する場合、還元率が低く、輸送コストなど財政を圧迫する可能性がある。今後は、リサイクルの仕方などの情報収集を行い検討していく。

環境意識の向上について

① ごみ減量化・資源化に関する社会意識を育てるため、小中学生を対象とした環境学習の普及啓発が必要では。

② 村内一斉清掃の参加、食品ロス、全校児童による前浜海岸清掃、エコバックの作成、ごみ処理施設の見学など、環境教育を推進している。

最終処分場・清掃センターへの主要道路について

① 最終処分場への主要道路・産業振興、観光振興道路としての観点も含め大黒根トンネル先の延長及びおきの沢線と共に、村民総意の下に最大限の要望活動を行うべきでは。

② 赤崎から返浜区間の都道移管及び林道天上山線の補修整備については、東京都へ引き続き要望活動していく。今後は、東京都と村の事業を融合させ進めていく必要がある。崩落部分の法面を東京都に協力して頂き、道路整備については村が行い、事業を融合して計画を推進することも考えている。最終処分場への主要道路を安全・安心に往来できるよう、引き続き要望活動を行っていく。

大島処分場への北地域の人口割廃棄処分量（令和元年12月末現在）

町村名	人口	14年間廃棄総屯量	1人当たり14年間の廃棄量
大島町	7,880	6,292 屯（災害廃棄物除外）	0.798 屯
利島村	321	120 屯	0.373 屯
新島村	2,724	1,366 屯	0.501 屯
神津島村	1,894	1,771 屯	0.935 屯

○平成18年5月受入開始～令和元年12月までの累計 ○最大埋立容量 49,500㎡ ○22,602㎡ 45.7%の埋め立てが終了

令和2年第4回神津島村議会定例会

令和3年第1回神津島村議会臨時会

◎ 審議された議案の質疑応答 ◎

専決処分の承認を求めることについてし尿汲取り車購入契約

老朽化に伴い、新たにし尿汲取り車を購入するもの。

〔質〕—し尿汲取り車の先進安全装置とは。

〔答〕—ドライバーの安全運転を支援するためのシステムが搭載されている車両。カメラだけでなくレーダーで検知し、衝突の危険性がある場合に自動ブレーキをかけるシステムなどが搭載されている。

専決処分の承認を求めることについてCT診断装置購入契約

老朽化に伴い、新たにCT診断装置を購入するもの。

〔質〕—現在のCT装置より医療性能は上がっているのか。

〔答〕—既存のCT装置より画像枚数と撮影速度等が約8倍の性能。医療性能が上がり、病気等をより発見しやすくなる。



神津島村営バスの設置等に関する条例の一部を改正する条例

新たに精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者及び療育手帳を所持する者の村営バス旅客運賃を無賃とするため条例の一部を改正するもの。

〔質〕—無賃となる方の証明書の発行等は考えているのか。

〔答〕—精神障害者保健福祉手帳等の提示で乗車できる。

令和2年度東京都神津島村一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ63,022,000円を追加するもの。

〔質〕—焼却灰測定試験再検査料の理由は。

〔答〕—測定試験の結果、一部の数値(鉛)が基準値を超えたため再検査となった。

〔質〕—生活支援ハウス施設整備事業補助金の内容は。

〔答〕—やすらぎの里2階通路の天井部分が結露によりカビが増殖。天井板の撤去、冷媒管の補修、換気機能付きの空調機を導入する。

〔質〕—プレミアム付商品券発行運営事業委託料の内容は。

④—新型コロナウイルス感染症の影響により売上が大幅に減少している飲食店等に消費を促すため、プレミアム付商品券を発行。対象者は神津島に住民票がある全住民。1人につき最大1万円分購入でき、2万円分の商品券が購入できる。

④—新型コロナウイルス感染症予防対策事業消耗品の内容は。

④—感染症予防として、公共施設に消毒液、マスク、空気清浄機等を購入。

④—新型コロナウイルス感染症対策特別協力金の申請件数は。

④—東京都の感染拡大防止協力金の対象外となった事業者を対象に申請を受け付け。申請件数は、個人事業者35件、法人事業者5件の計40件。

④—観光防災拠点Wi-Fi設備増設委託料の内容は。

④—役場庁舎1階の応接室及び災害対策室に、Wi-Fiのアクセスポイントを増設。

④—テレワーク環境整備委託料の内容は。

④—新型コロナウイルス感染症の拡大防止等に向けテレワークなどを実施する。テレワーク、ウェブ会議、リモート会議等の対応の強化及びセキュリティー対策としてサーバー強化を図る。

④—庁舎空調設備改修工事の内容は。

④—感染症対策として、換気機能つきの空調機に改修する。

④—古民家シロアリ防除委託料の内容は。

④—シロアリ被害を受け、古民家全体に

防除対策を行う。

④—東京都公立学校遠隔学習機能強化支援事業の内容は。

④—GIGAスクール関連事業として、小中学校の生徒1人1台パソコンを配布。パソコン用のカメラ、マイクを新たに購入するもの。今後、学校が休校になった場合、Zoomや学習ソフトを使用し自宅での学習が可能になる。

令和2年度東京都神津島村 国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)

歳入歳出それぞれ7,380,000円を追加するもの。

④—看護師の定員人数は。

④—派遣会社の看護師を含め7名が定員。

④—診療所外壁改修工事の追加理由は。

④—外壁改修工事により足場を設置。屋根部分を調査した結果、老朽化により改修工事が必要と判断し追加。

はまゆう保育園大規模改修工事 請負契約の変更

工事金額の変更に伴うもの。

④—工事金額の減額理由は。

④—現地精査の結果、当初設計より破損及び腐食等の劣化が少なかったため減額となった。

議会日誌

令和2年	
9月10日	令和2年第3回定例会(開会)
11月2日	浦野神父来島
6日	議会だより編集委員会(186号) 令和2年第3回定例会会議録署名
10日	東京都庁挨拶回り
25日	東京都島嶼町村議会議長会第3回臨時総会 第64回町村議会議長会全国大会 東京都町村議会議長会決算監査
27日	令和2年第4回定例会議会運営委員会

編集 後記

太陽光や地熱、バイオマスと
太 いった再生可能エネルギー

は地球温暖化対策として有望視されていますが、風力発電の話題が近頃多いと感じています。特に海洋上に発電設備を置く洋上風力発電は陸上に比べ大きな風力を持続的、安定的に得られ、騒音リスクが低く、設置場所の確保がしやすいことがメリットのようです。

平成31年4月には「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」が施行され促進区域として長崎県五島市、千葉県銚子市などで計画が進められています。

また、大島町において「伊豆大島沖浮体式洋上風力導入実証事業」が始まったようです。一方で南伊豆沖では民間事業者により南伊豆町と下田市の沿岸から1～10キロの洋上に高さ154～260mの風車を50～100基建設し海底ケーブルで伊東市まで送電すると

いう計画が進行中ですがこれに対し静岡県知事は反対の意見を表明、下田市議会と南伊豆町議会においては「南伊豆洋上風力発電事業の中止を求める意見書」が可決されました。

また、環境大臣意見ではカンムリウミスズメの生息環境の変化による鳥類への影響を回避することや国立公園の区域内における風力発電設備の設置を原則回避する、眺望景観への重大な影響を回避することが求められています。福島県楢葉町沖に設置された風車2基を撤去するため来年度50億円が計上されたニュースなどもあり今後も注視していきたいと思えます。

「議会だより」編集委員会一同

委員長 清水 勉
副委員長 鈴木 佑典
委員 浜川 芳光
委員 小林 正吾郎